

平成30年 第6回伊那地域協議会会議録

開催日	平成31年2月8日(金)										
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時50分					
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール										
委員の出欠 出席24名 欠席15名		委員氏名				委員氏名				委員氏名	
	1	御子柴 春樹	出	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	欠		
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	欠		
	3	竹前 進	欠	18	平嶋 真	欠	33	網野 美和子	欠		
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	欠	34	平澤 彩	出		
	5	原 壯内	出	20	伊藤 哲寛	出	35	河上 由香	欠		
	6	福沢 雄司	欠	21	網野 隆志	出	36	小林 建正	出		
	7	武田 修平	出	22	板倉 倫顯	出	37	平賀 裕子	欠		
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	出	38	小林 正	出		
	9	池上 喜恵	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	出		
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	欠					
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	出					
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	欠					
	13	林 典男	出	28	中村 一重	欠					
	14	小澤 辰夫	出	29	唐澤 敦史	出					
15	三澤 惇夫	出	30	清水 功	欠						
署名委員	小澤 辰夫			三澤 惇夫							
条例第10条の規定により出席した者	なし										
市側の出席者											
出席した事務局職員	地域創造課 課長				下平 明彦						
	地域創造課 地域振興係長				飯島 勝						
	地域創造課 地域振興係				橋爪 智美						
議 事	(1) 小グループでの課題検討について (2) その他										
配布資料	資料 No.1 グループ討議まとめ 資料 No.2 伊那市協働のまちづくり交付金事業										

1 開会

副会長により、開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ (会長より)

伊那地域協議会もここ数回グループに分かれ各テーマにそって検討していただいている。今日で3回目になるが、平成30年度として本日一旦区切りまとめていただく形となる。各テーマについてグループで検討をよろしく願いたい。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に14番 小澤 辰夫委員、15番 三澤 惇夫委員を指名する。

4 報告事項

(1) 平成31年度協働のまちづくり交付金事業の募集について

(事務局)

平成31年度協働のまちづくり交付金事業の募集について説明。

5 会議事項

(1) 小グループでの課題検討について

(事務局)

本日で今年度のまとめということで願いたい。各グループで、今検討しているテーマを今回でまとめるのか、それとも来年度も引き続き同じテーマで検討していくのかについても協議し発表していただきたい。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

今年度は3回ほど集まって実際の市街地を確認したり、今後の進め方について検討したりした。結論からいうと、今の時点では最終的な提言というところまでいっていないので、来年度も継続して同じテーマで検討をしていきたい。今の段階での来年度の進め方としては、従来は提言といった形でこうしていったらどうかというように案を出していたのだが、やはり単発でそういう案を出しても、なかなか取り組むのが市の方でも難しいということもある。そこで、継続して市街地の活性化を検討していく協議会のようなものを作ったらどうかということ提言しながら、来年度は具体的にそういった会をどうやって作っていったらよいかを地域協議会の中で検討していったらどうかという話になっている。

(グループ2) 「地域の安心・安全について」

グループ2は地域の安心・安全ということで、安心・安全については市民の不安要素を取り除くという側面から検討してきた。まとめ方は、災害・防犯・交通ということで、これらについての不安要素を課題としてあげる。その課題についてどうやって解決していくかという方法を探り出した。今までの全ての意見をまとめて、形としては提言まで終わったということになる。地域の安心・安全については我々のグループでは今回で終了して、来年度は新しいテーマを考えて、またこのグループで検討して活動していくことに決まった。

(グループ3) 「公共施設の在り方について」

資料で出された討議のまとめに従って話をさせていただく。テーマは公共施設の在り方についてであるが、現状と課題については現状竜東地区には防災施設、消防施設がなく、昨今頻繁に発生する想定外の水害等が発生した場合、人的な災害が懸念される。これは天竜川、三峰川の氾濫のことを示している。上伊那広域高遠消防署からの救援・支援活動の事態が予想される。また低地にある市役所が水害により行政機能の停滞、機能麻痺等が予想される。総合病院、伊那中央・昭和伊南・辰野全て天竜の西にあり、緊急時の搬入機能が低下した場合大きな二次災害が想定される。また、土砂崩れ、水害の回避のために高台の安全な市民の避難場所が必要というのが現状の課題である。

あるべき姿と理想像であるが、153号バイパス、環状北線開通を機に、消防施設、避難施設等の総合防災施設を建設することにより、天竜東の防災拠点としたい。災害時、緊急第二市役所機能を確保できる。あわせてリニア開通を見据えて他利用型の道の駅を併設し、伊那市の特産物・農産物の宣伝・販売、また観光のアンテナショップとして伊那市の歴史・文化などを伝承する施設を併設することが望ましい。具体的な解決策としては、防災の拠点機能として、伊那市全体の防災機能を備えた防災重点的施設、緊急時の行政機能を補完できる施設、多機能の防災施設建設に向けて、その建設場所その内容等詳細について関係部所と検討をしていきたい。

あわせて道の駅を併設することであり、これは伊那市の観光拠点として観光の発信、農産物・特産物の販売、歴史・文化の伝承施設の併設をしていきたい。また、体育施設として体育館が天竜東には少ない、体育館等も併設ができればと提案をしたいと思う。グループの討議の提案としては、基礎案としてはできているが、少し煮詰める必要があるので、31年度も継続をしこのテーマに取り組んでいきたいという方向になった。

(グループ4) 「地域のつながりについて」

4班だが、テーマとしては「地域のつながりについて」で、地域のつながりで課題になるのはやはり高齢者、少子高齢の時代にどう向き合うかということになる。高齢者支援ということで、お隣あったかネットをやっている地域があったり、買い物支援をやっている地域があるが、まだまだ課題が見えていないと思われる。特に支援といっても個人個人で支援してほしいことが様々で個人情報保護ということもあり、この支援の在り方についてもう一度考えていかなければいけないと思う。また前回あがったのは独身者が多いという課題も出たが、このこともまだ情報を開示するということは非常に難しい。隣近所の情報

の開示は難しいとかいろいろな課題がありすぎて、地域のつながりをどうやってつくりあげていくかまとまりきれしていない。課題の絞り込みを今年度中に行い、来年度は課題の解決に向けて、継続して検討していきたいと思う。

(会長)

来年度も継続するという班もあるし、新たなテーマに取り組むという班もあるが、いちお本年度のまとめとして配られたものに記入して、提出をお願いしたいと思います。

5 その他

(事務局)

平成31年度の「協働のまちづくり交付金」についてだが、事業の募集期間は今年の場合2月1日から3月10日までであった。同じように2月から3月上旬ということで来年度の事業の募集をしたいと考えている。市報の発送に合わせて募集の回覧を回す予定があるので、お含みいただきたい。

6 閉会

(副会長)

以上を持ちまして、第6回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成31年2月8日

平成30年度 第6回伊那地域協議会 会議録

会 長

会議録署名人

会議録署名人